

2020 年度 事業計画書

2020 年 5 月 28 日

1. 2019年度の振り返り

今年度、基幹事業である「児童養護施設への自転車寄贈事業」（以下自転車寄贈事業）は、公益財団法人 JKA（競輪・オートレース振興法人 以下JKA）の補助事業として、これまでの幼児・小学生向け、中高生向け両方での認可を受けられたことにより、94施設に269台の寄贈を行う事が出来ました。

自転車教室に於いては一般社団法人 日本競輪選手会、各施行者のご協力のもと、競輪場での4会場、訪園しての開催を3施設、自転車イベントでの開催も実施し、来年度へ向けての実績を作ることが出来ました。

今年度を終えて、寄贈先は延べ729施設、台数は1,456台となっております。

「自立支援事業」としては、NPO法人ブリッジフォースマイルを通して、児童養護施設を退所した子どもたちへの支援を継続。

その他、支援団体先のイベント等での募金活動、屋外看板などの広報活動も継続しました。

2. 2020年度の基本方針

事業の有用性が確認できたことを踏まえ、2019年度も児童養護施設の子どもたちへの「自転車寄贈事業」を主な事業として行って参ります。

JKAからは活動が評価され10,505,000円の交付額と決定し、自転車寄贈の目標が330台となりました。

自転車教室においては競輪場での開催に加え、訪園しての自転車教室も昨年度より多く実施する計画でございましたが、コロナウイルス感染拡大に伴い、状況を見据えながら寄贈、自転車教室の実施を見直す予定でおります。

3. 事業計画概要

1) 自転車寄贈事業

これまで既存事業（中高生向け）と JKA 補助事業（小中学生向け）を分けて実施しておりましたがこれを撤廃し、中高生向けの寄贈を増やす方向で事業を展開して参ります。寄贈数は120施設、330台を予定しております。

自転車購入単価は25,000円（送料防犯登録料含む想定額）とし、2020年度自転車総購入費は9,023,000円となります。

自転車贈呈式・自転車教室については、競輪選手会などの関連団体等と協力の上、参加する子どもたちに喜ばれるよう、競輪場、訪園で10回の実施を目指すと同時に、開催の様様をメディア等へ取り上げて貰えるよう積極的に働きかけ、接触機会の向上を図ります。

2) 児童養護施設の子どもたちへの自立支援事業

自立支援活動につきましては、今年度もNPO法人ブリッジフォースマイルのプログラムへの寄付を検討して参ります。

3) その他団体への支援活動

昨年同様、日本赤十字社など、財団の理念に合致する団体・法人等へ支援を行います。

4) 基金拡大のための施策

2018年度に実施したアンケートの調査結果を基に、一般的にはあまり知られていない児童養護施設の現状を、HPやリポート等で、対外的にアピールし、社会の関心を集めるとともに財団の活動への理解を深められるよう努めます。

5) その他